

西条ロータリークラブ 週報

週報 2023年3月2日 3月第1例会

例会日 木曜日 東広島市立美術館

会長 平賀 弥泉 副会長 松重 宏治 幹事 奥本 哲之 副幹事 木村 優一

本日の例会 第2793回

12:30 会食時間

13:00 移動

点鐘 (平賀会長)

ロータリーソング斉唱

お客様の紹介 (松重副会長)

会長時間 (平賀会長)

職場例会「東広島市立美術館」松田弘館長 (職業奉仕委員会)

13:30 点鐘 (平賀会長)

お知らせ

★今後の例会スケジュール

- 3月 9日 (木曜日) 情報集会の発表 (クラブ研修委員会)
- 3月16日 (木曜日) 「国際奉仕活動について」本田会員 (国際奉仕委員会)
- **3月23日 (木曜日) 例会休み (3月21日の振り替え) 春分の日**
- 3月30日 (木曜日) 親睦委員会 (花見例会予定) 18:30~20:30
- 4月 6日 (木曜日) PETSの報告 (奥本会長エレクト)
- 4月13日 (木曜日) ゲスト卓話「プロ野球について」プロ野球解説者 山内泰幸 様
- 4月20日 (木曜日) 新入会員卓話

『悲しみよ こんにちは』 フランソワーズ・サガン
 この作品は、サガンが18歳の時に書いた処女作で、1954年に発表され、1年後には100万部を超えて25ヶ国で翻訳され、ハリウッドで映画化もされ大ヒットしました。また、フランスのノーベル賞作家モーリヤックも絶賛し、サガンの名前と「悲しみよ こんにちは」は瞬く間に世界中に広まりました。

まず、書き出しが印象的です。

「ものうさと甘さが胸から離れないこの見知らぬ感情に、悲しみという重々しくも美しい名前をつけるのを、わたしはためらう・・・」と、「悲しみ」という言葉に疑問を呈する所から始まっています。



18歳のサガンは大人達が使っている言葉ではなく、自分の言葉で自分を語るのだと宣言しているかのようです。

ストーリーは17歳のセシルという少女が主人公です。母親は亡くなっており、父レイモンとその若い愛人エルザと一緒に南フランスで夏のバカンスを過ごします。そこにやって来たのが、亡くなった母親の友人アンヌ、やがて父レイモンはアンヌと親密になり結婚を決めます。しかし、それによってセシルは傷つき、父親とアンヌの仲を引き裂く策略を練り実行します。そして、大変悲しい結末が訪れます。

この作品を初めて読んだのは、主人公セシルと同じ高校生の時です。まず、このシチュエーションにびっくりです。夏休みに何週間も別荘地で暮らすという事もあり得ないし、しかもセシルはお酒もがらがん飲むし、たばこも吸う。ボーイフレンドとヨットに乗り、「私にはわかった。私は大学に入り、勉強に打ち込むよりも、太陽の下で男の子とキスする才能の方に恵まれている」と言っているような高校生です。この日本の高校生では想像もつかない世界に、何か憧れを抱きながら読みました。

楽しく過ごしていたセシルに悲劇が訪れます。それはアンヌの出現によって始まります。アンヌは自分の価値観を新しく娘になるセシルに押し付けようとしています。セシルはアンヌの方が正しいとわかっていながら反発します。

皆さんも思春期の頃を思い出してみてください。自分がこれが良いと決めた方に進もうとした時に、親が反対します。後で考えると、親の言う事の方が正しいのですが、その時は自尊心を傷つけられ悔しい思いをする。そう言った経験が何度もありませんでしたか。

これは国を問わず、若者に共通する感情だと思います。そこの所の心理描写をサガンはきめ細かく言葉に表していきます。これがこの作品が70年たった今でも、色褪せず世界中で読み継がれている所以だと思います。

例会風景 (2月16日)

連続100%出席 今谷 会員 48年、河内 会員 2年 おめでとうございます。



西条RC奨学生 劉一杰 様 卓話



西条ロータリークラブ 卓話
私の留学生活

西条RC奨学生
劉一杰

自己紹介



中国吉林省长春市

- 吉林省首都
- 人口908万人(2022年)
- 市内には長春第一自動車製造工場と長春映画製作所が所在し、中国における自動車工業と映画製作の拠点、その他色々な有名な研究所がある
- 四季が顕著で、別名:北国春城
- 夏は暑く、冬は非常に寒さが厳しい。1月の平均気温は-14.6℃、7月の平均気温は23.3℃である



1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



】
 〓
 〓
 〓
 〓
 〓
 〓

日本に来たきっかけと留学について

- 国内で進んでないのであれば外に出て勉強し、その成果をもちかえることで、中国の教育の質の向上に尽力できるのではないかと
- 日本の大学や様々な研究者について検索し、広島大学の栗原慎二先生の研究室で学びたいと考える

私の研究について

- 保育者の愛着や発達に課題を抱える子どもの理解と支援について
- 研究対象: 幼稚園教諭・保育士
- 目的: 様々な課題を抱える子どもたちに対しての、保育者の観察力を向上させ、よりの確かな子ども理解と適切な関わり・支援ができるよう、その影響要因について検討する。
- 子どもたちとより適切に関われるよう、保育者の専門的能力の向上と保育士の質の向上を目指す

最後に

- ローターは、職業奉仕とそこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とする
- 自己啓発を進めながら、自分の職業を生かして、世界や地域に奉仕していくことを目指す

(RCホームページ抜粋)

ご清聴ありがとうございました。

スマイル・ボックス (Smile Box) 2月16日例会出宝分

本例会：6,000円

★48年100%出席

★入会記念日

★入会おめでとう

・今谷 会員

・今谷 会員

・木村 (有) 会員

出席報告 (2月16日例会)

お客様の紹介

西条RC奨学生

劉一杰 様



◆会員数 41名 ◆出席者 33名 ◆来訪者 1名 ◆欠席者 8名
 ◆2月2日の欠席者 5名 ◆メイクアップ 2名
 ★出席率 92.5% ★通算出席率 99.27%

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか